

【課題番号】 S-15

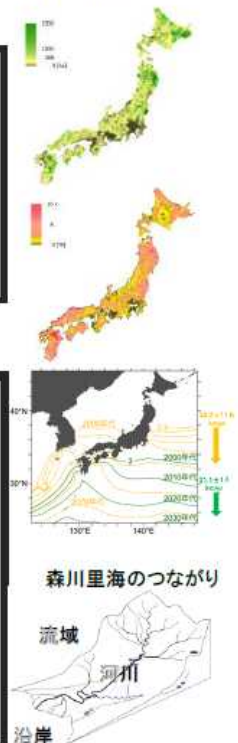
【研究課題名】 社会・生態システムの統合化による自然資本・生態系サービスの予想評価

研究の全体概要

地球環境及び社会経済の変化により加速化しつつある生物多様性の減少や生態系の劣化を食い止め、「自然と共生する世界の実現」を図ることは、国際社会に課せられた地球的課題である。本戦略プロジェクトの目的は、我が国を中心に、アジア地域も視野に入れながら、生態系レベルの事象に焦点をあて、社会・生態システムの統合モデルを構築するとともに、それを用いた自然資本・生態系サービスの自然的・社会経済的価値の予測評価を行い、シナリオ分析に基づく複数の政策オプションを検討し、包括的な福利を維持・向上させるための自然資本の重層的ガバナンスのあるべき姿を提示することである。これにより、長中期的な生物多様性・生態系変化とそれによる人間の福利への影響を科学的な解明が進むと同時に、将来見込まれる課題解決に向けた科学と政策との連携強化が図られる。

研究の全体概要図

生態系サービスの広域的な予測評価と空間分布解析の例



全体目標

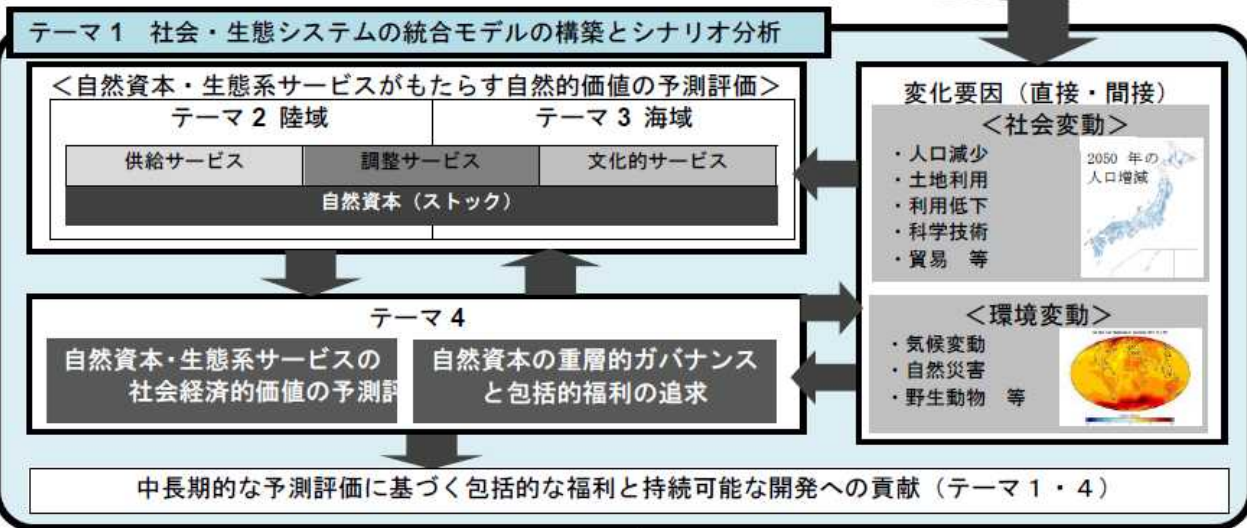
- 我が国を中心に、アジア地域も視野に入れながら、生態系レベルの事象に焦点をあて、社会・生態システムの統合モデルを構築。
- いくつかの重要な指標を用いた自然資本・生態系サービスの自然的・社会経済的価値の予測評価を行い、シナリオ分析に基づく複数の政策オプションを検討。
- 包括的な福利を維持・向上させる自然資本の重層的ガバナンスのあるべき姿を事例研究を通じて提示。

個別目標

- ・ 統合データベースの構築とそれを活用した社会・生態システムの統合モデルの構築
- ・ 自然資本を活かした包括的な福利の向上や土地利用・国土利用のあり方の提言
- ・ 陸域における自然資本・生態系サービスがもたらす自然的価値の予測評価
- ・ 海域における自然資本・生態系サービスがもたらす自然的価値の予測評価
- ・ モデル流域における陸域・海域生態系の相互関係の把握と将来シナリオの検討
- ・ 自然資本・生態系サービスの社会経済的価値の予測評価
- ・ 自然資本の重層的ガバナンスの概念枠組みの構築と具体的事例への応用
- ・ 日本を含むアジアにおける自然資本・生態系サービスに関する科学-政策インターフェース強化の検討
- ・ 科学的アセスメントへの枠組みの提示等を通じた IPBES 等における国際的貢献

我が国の生物多様性・生態系サービスが直面している課題（危機）

- 第1の危機： 開発など人間活動による危機
- 第2の危機： 自然に対する働きかけの縮小による危機
- 第3の危機： 人間により持ち込まれたものによる危機
- 第4の危機： 地球環境の変化による危機



日本及びアジアにおける科学-政策インターフェース強化の検討（テーマ1）